



新型コロナ ウイルス感染拡大の 防止強化を



日本共産党は、知事に感染対策の強化を申し入れました。

- ▶正確な情報提供、感染拡大防止と検査・医療体制の確保
- ▶休校、イベントの自粛・中止による収入減対策
- ▶観光や中小零細企業への支援
- ▶実態調査とワンストップ窓口の設置
- ▶職員と財源確保など
7分野21項目を要求

詳細は日本共産党千葉県議団サイトへ▶



マスクが足りない

開業医が加入する医療団体のアンケート(3月中旬)でもマスクや消毒用アルコールの在庫不足で「診療を縮小」「休診」などの回答があり、事態は深刻です。県に強く働きかけ、ようやく一定数のマスクを支給されました。

自粛と補償はセットで

日本共産党は、内需・家計・中小企業支援に力を集中する大胆な経済政策を提唱しています。とりわけ、「自粛要請」で苦境に陥っている事業者・個人へ、「感染防止策」として直接支援を求めています。

公立・公的病院の 再編統合断念せよ

国は、県内10病院を名指して、統廃合を迫っています。地元の関係者や自治体は、強権的な国のやり方を厳しく批判し、計画の撤回を求めています。県も病院の維持・拡充に力を尽くすべきです。

住みよい 千葉県めざして



柏市
文教常任委員
加藤英雄



松戸市
健康福祉常任委員
みわ由美

命と安全を守る 人と予算は減らしてはならない

多くの県民は「苦難」の連続です。
日本共産党は、2月議会で「住民の命と安全を守る人との予算は減らしてはならない」と強調しました。



災害対策・交通安全 安心・安全の街づくりへ



洪水対策 水位計設置へ

2018年の県の意向調査では、21の市町村が河川の水位計設置を求めていましたが、放置されてきました。日本共産党は洪水への危機意識の欠如を指摘。県は、梅雨時までの設置を約束しました。

激減する信号機 大幅な新設を

千葉県は交通事故死ワースト。ところが信号機の2020年度新設見込みは、22基。2013年度の4分の1に激減です。毎年、既存道路への設置要望は1000カ所、県は「所要額を計上」と強弁しています。

県道の安全 予算カットやめよ

巨大道路の直轄事業負担金は、国の言うまま2020年度も増額し、幹線道路につながる道路建設事業は39億円も増。その一方で、県民生活に密着している県道の交通安全対策や道路維持の予算は容赦なくカット。やることが逆さまです。

悲劇をくりかえさせない

野田市の小学4年女児虐待死事件をうけ、県社会福祉審議会は「松戸・鎌ヶ谷」と「印旛郡」への県立児童相談所新設を打ち出しました。船橋市、柏市も設置予定。千葉市を合わせると県内の児相は11カ所に増えます。日本共産党は、市民運動と連携して児相と一時保護所の増設に取り組んできました。

提案しました
日本共産党

2020年度

予算の使い方を変える!

このうち0.95%

一般会計予算
1兆8195億

173億円で暮らしを豊かに

予算を増やす

暮らし・福祉・教育・
安全を最優先



▶ 子どもの医療費	中学3年まで通院助成	31.0 億円
▶ 国保	ひとり親家庭6歳未満の均等割分助成	22.6 億円
▶ 重度障害者児医療費	助成窓口完全無料化	3.7 億円
▶ 特養ホーム	建設補助金大幅増額	13.5 億円
▶ 介護施設	職員確保緊急対策	10.8 億円
▶ 保育士	待遇改善事業の増額	27.0 億円
▶ 小4、中2で35入学級	実施	8.7 億円
▶ 産休、育休、長期療養代替教員未配置解消		5.7 億円
▶ 私学	年収350万円未満世帯の施設整備費等減免	15.8 億円
▶ 水位計	の緊急増設	3.1 億円
▶ 交通安全	対策、道路維持の増額	21.9 億円
▶ 商店(街)	支援大幅拡充	3.6 億円
▶ 農業後継者	支援	3.0 億円
▶ 信号機	増設	2.8 億円

増額の合計 173.2億円

減額の合計 173.2億円

台風災害復興、消費税10%強行、新型コロナウイルス感染拡大など… いま暮らしと景気は深刻です。日本共産党は、県民生活や地域経済を支え、防災・減災の街づくりに向けて173億2000万円規模の2020年度予算の組み替えを提案しました。

予算を減らす

不要不急な
巨大事業の凍結・先送り

▶ 道路	直轄事業負担金	52億円
▶ 河川	直轄事業負担金	30.4億円
▶ 港湾	直轄事業負担金	4.1億円
▶ 國央道	アクセス強化事業の先送り	3.3億円
▶ 北千葉道路	整備事業の圧縮・先送り	11.3億円
▶ 土地区画整理事業		25.2億円
▶ 土地改良	直轄事業負担金	32.9億円
▶ 広域農道整備	の圧縮	4.0億円
▶ 農地	中間管理機構事業	2.1億円
▶ 企業立地補助金	の圧縮	7.3億円
▶ 水道	広域化推進プラン策定事業凍結	0.3億円
▶ 議員の海外調査	見送り	0.3億円

2020年2月千葉県議会

議案・意見書・請願
○…賛成・採択 ×…反対・不採択

2020年度一般会計予算
(県民の命と安全を守る予算の減額など)

「桜を見る会」など疑惑解明を求める意見書

消費税率5%への緊急減税を求める意見書

米国の小型核弾頭の実戦配備に抗議し、核密約の廃棄を求める意見書

「緊急事態条項」新設の憲法「改正」に反対し、改憲発議の断念を求める意見書

日米自由貿易協定(FTA)交渉中止を求める意見書

地域医療構想および公立・公的病院の再編統合リストの撤回を求める意見書

松戸市に県立児童相談所を早期に新設するよう求める請願

共産党	自民党	立憲民	千葉民	公明党	千葉会
×	○	○	○	○	○
○	×	○	○	×	×
○	×	×	×	×	×
○	×	○	×	×	×
○	×	○	×	×	×
○	×	○	×	×	×
○	×	○	○	○	○
○	×	○	○	○	○

「5年間」の
保障はありません

事故の危険、騒音にさらす
オスプレイの暫定配備ゆるすな

陸上自衛隊オスプレイが木更津駐屯地へ配備されます。木更津市と防衛省は、配備期間を「5年以内を目標」とすることで合意し、知事も容認しています。

しかし住民は、「恒久配備にならないのか」

「重大事故や騒音被害が心配」など不安を高めています。同機の飛行・訓練は、県内、首都圏などにおよびます。今からでも他の市町村の声を聞き、配備計画の撤回を求めるべきです。

